

いんのしょう



学校だより
平成24年
3月号
津山市立
院庄小学校



梅一輪一輪ほどの暖かさ

寒く厳しい冬もそろそろ終わりに近づき、待ちに待った春がもうそこまでやって来ています。

一月は行く 二月は逃げる 三月は去る... 本当にあつという間に時が過ぎ、今年度もはや三月になりました。

三月は学校にとっては「大みそか」。年度の締めくくりと

新年を迎える準備で大わらわです。その中でも学校として最大の行事“卒業証書授与式”一色の大みそかなのです。先日の職員会議で22日(木)の卒業証書授与式の詳細が決定し、すべてが動き始めました。7日(水)は「6年生を送る会」、19日(月)は卒業式予行と続きます。

6年生は元より、全児童の皆さんは、とにかく健康が一番です。インフルエンザもまだまだ安心できません。体調に留意し、明るく元気に過ごしましょう。

平成24年 3月行事予定表

日	曜	行事予定	給食
1	木	1~5年参観日 学級P 学校関係者評価委員会16:00	○
2	金	安全点検日	○
3	土		
4	日	院庄地区健康福祉まつり	
5	月	5・6年ALT英語授業	○
6	火	4年手話教室	○
7	水	集金貯金日 6年生を送る会 職員会議	○
8	木	集金貯金日 6年テレビ津山収録 学校評議員会14:00	○
9	金	図書貸出中止	○
10	土		
11	日	青少年健全育成会西ブロック落書き消し	
12	月		○
13	火	津山西中学校卒業式 図書返却	○
14	水	ゆとりタイム 図書室整備のため閉館～	○
15	木		○
16	金	院庄幼稚園卒業式	○
17	土		
18	日		
19	月	給食最終日 通学班会 保幼小連絡会	○
20	火	春分の日	
21	水	卒業式準備 短③ (1~4年2校時後下校)	
22	木	卒業証書授与式(4・5・6年登校)	
23	金	短③ 一斉下校11:40	
24	土	院庄保育園卒園式	
25	日		
26	月	修了式 一斉下校11:40	
27	火	学年末休業日	
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		
年間のめあて		あいさつをしよう やさしいことばをつかおう	
3月のめあて		整理整頓をしよう	
4月の主な行事(予定)			
8日(日)たかのりまつり(新6年有志参加) 9日(月)一学期始業式 新任式 10日(火)入学式 11日(水)2~6年給食開始 通学班会 中学校入学式 13日(金)退任式 16日(月)1年給食開始 18日(水)集金・貯金日 職員会議 19日(木)集金・貯金日 20日(金)参観日・PTA総会 23日(月)~26日(木)家庭訪問			

学校関係者評価の結果について

昨日、学校関係者評価委員の方々に、平成23年度本校の取組の一部について評価していただきました。その結果を右下に載せています。評価委員は、政岡連町支部長・福田公民館長・PTA役員です。表右欄に評価をしていただきました。来年度の学校の取組に活かしていきたいと思えます。

6年生とお別れ給食...



卒業を間近に控えた6年生と校長室で一緒に給食を食べています。6年間のさまざまな思い出や中学校での部活動の話などなど...中には、保育園や幼稚園の時の話も出て来て、つつい時間オーバーになることも。楽しいひとときです。23名の6年生が、立派に成長してくれることを、心より祈っています。

おひらせ

地区役員さんを通して、通学路の一部変更をお願いしております。きまり次第、3月中に試しに歩いてみたいと思っています。詳細につきましては、後日連絡します。

平成23年度 津山市立院庄小学校 学校評価書(別紙)

(A:目標を上回った B:ほぼ目標通り C:目標を下回った)

学校経営目標等	具体的計画	今年度の達成基準	自己評価		学校関係者評価	
			成果と課題	評価	評価	総合
子どもたちにとって「楽しい学校」「楽しい学級」を創る	①わかる授業づくりを行い学力向上をめざす ②喜びや悲しみを共有できる、寛容な集団づくりをする	言語活動の充実を図りながら、算数の研究授業を一人1回以上行う	計画通り授業研究が実施できて成果を挙げている。全教室に実物投影機が設置できて、効果をあげている。	A	A	・言語活動の充実に向けて、言葉の物差しを各教室に掲示して取り組んでいることはすばらしい。 ・児童相互の学び合いも言語活動の充実につながっている。 ・読書の取組について、冊数だけでなく、読書の質についての取組も検討していけば、さらに充実するのではないかと。 ・「ほめほめカード」では、児童同士の関わり合い、認め合いということから、児童同士でも行ったらどうだろうか。
		めあてとまとめのフラッシュカードを使った授業を毎時間行う 宿題等の100%提出(西中ブロック統一取組)	めあてとまとめについては本校ですすんで取り組んでおり実施できている。提出は努力しているが100%は課題である。	B		
		年間100冊以上の読書達成を行う	1月現在170名中90名(53%)の児童が達成しました。1・2年生、さくら・たんぼぼ学級は全員達成。200冊以上は38名でした。中学年のがんばりが今一歩である。	B		
保護者・地域の方々にとって「安心・安全な学校」を創る	①学習面、生活面すべてで安心して子どもを任せられる信頼関係を構築する	「ほめほめカード」を活用し、全職員が児童の善行を認め勧めるようにする	児童には大変効果的である。今後はさらに改良を加えて取り組みたい。	B	A	・地域での挨拶は今ひとつであるので、地域として協力していきたい。 ・学校教育について、地域は全面的に支援をしていきたい。 ・言葉の重みを知り、言葉を大切に、やさしい言葉を使うことが大切。 ・縦割り班活動はとても良い活動で、今後も充実して取り組んでほしい。 ・地域との連携はC評価だが、新たな取組(民生児童委員)などあり、もっと高く評価してほしい。
		毎週水曜日のゆとりタイムには、全員外で遊ぶ	まずまずであるが、全児童が外に出るところまでは至っていない。雨天時は読書に変更することもある。	A		
		児童会を中心にあいさつ運動を毎月行う	児童会が毎月一週間行っている。登校時のあいさつがだんだんとできるようになっている。	B		
		職員室への入室時マニュアルを作成し実施する	今年度からの新たな取組で、時と場所に合わせた言葉づかいや態度の育成に効果をあげつつある。	A		
教職員にとって「組織で動く学校」を創る	①校内組織が一校役で実働化するようになる	縦割り班で役割を分担して、集会をしたり掃除をしたりする	昨年度スタートした縦割り班をさらに発展させている。上学年が下学年の世話をするようになりつつある。	A	B	・運営の会は新たな取組で、多忙の中、時間の確保が課題である。 ・保幼小連携は、地理的にも恵まれ、計画的に会を持ち、よくできている。 ・各職種の先生が、誇りを持って仕事に向かっている。今後も堅持してもらいたい。 ・地域から見て、学校全体として、良くなっていることが目に見えて分かる。
		院庄地区民生児童委員(10名)との連携を図る	今年度は、趣旨を説明するところまでできた。地区ミニ懇に多くの民生児童委員の参加があった。今後顔合わせの会等計画したい。	C		
		掲示板、学校ホームページ等で児童の様子等を発信する	学校掲示板・公民館掲示板・学校HPで学校や児童の様子等をこまめに紹介することで、学校に関心を持ってもらう。	A		
教職員にとって「組織で動く学校」を創る	①校内組織が一校役で実働化するようになる	週一回の学校運営の会(校長・教頭・各主任)を行う	学校行事や学年の様子などを話し合い、情報を共有することができた。多忙の中、時間の確保が課題である。	B	A	
		複数体制で協力して対応する(支援体制の確立)	緊急な事案には、教員が一人で抱え込まないよう複数で協力し対応して、即日解決を目指している。	A		
		全職員(全職種)が経営案を作成する	学校は多職種で成り立っており、自分の職務に誇りを持って取り組むことが学校にとって大切と考える。	B		
教職員にとって「組織で動く学校」を創る	①校内組織が一校役で実働化するようになる	保育園・幼稚園・小学校の話し合いを月1回持ち、共通理解を深め、指導を行う	小学校入学時の不安の軽減、落ち着いた学習環境づくりに成果を挙げている。津山西中ブロック小小連携、小中連携も出来つつある。	A	A	